

7 自由記載（抜粋）

【男女の地位や役割について】

- ・ 男性と女性が同じことをやれることを男女共同参画社会というのではなく、性別毎に出来ること出来ないことを判別し、女性に無理のない支援を行うことが重要だと思う。(20～24歳 男性)
- ・ 学校では男女の違いを全く感じることなく、これまで過ごしてきましたが、大人社会を見ると「女性が働きやすい環境へ」「女性の登用増加を推進」などのワードが目につきます。このような“女性”というキーワードがあること自体に男女の差を感じ、古臭いなど私は感じます。なので失礼ですがこの「男女の生活と意識の調査」というアンケートも必要ないと感じてしまいました。最近、家族の形も働き方も様々になっていて、性別の違いによる不満を感じている人は少ないのではないかと思います。“男女”ではなく“一人一人”が満足のいく人生を送れるように、国や市町村の方々にはサポートしていただきたいと思います。そして日立市には一歩先を見すえた取り組みを期待しています。(20～24歳 女性)
- ・ 女性の社会進出は重要であるが、男性側の意見をないがしろにされている部分もあると考える。弱者を保護するのは重要だが、目指す終着点は男女の平等であり、そのことを忘れてはならないと思う。(25～29歳 男性)
- ・ 男女の平等は、女性を優遇させれば良いわけではないと思っています。男性の理解と女性の努力、それを支える環境（社会）が不可欠だと思います。(25～29歳 女性)
- ・ 個人の能力を生かせる社会作りが、本当の平等になるのではないのでしょうか。(35～39歳 男性)
- ・ 日立市はまだまだ大企業関連の会社が多く、再就職の女性は派遣・アルバイト・パートが求人としてあり、正社員にはなれない。期限のある契約社員になれば良い方であるが、仕事は頑張っても”退職金なし”など、女性が一度結婚や出産等で退職してしまうと再就職は難しく、仕事をしていても将来に不安は残る。大企業等が派遣を辞めるだけでも日立市は変わると思う。(40～44歳 女性)
- ・ 男女平等の意味を明確にして活動を進めてください。男性と女性が存在しているのですから存在している意味があると思います。(正しい意味での) 男性らしさ、女性らしさを活かせる社会になるべきではないのでしょうか。物理的にも同一ではないのに同様に扱おうとしている今の動きは非常に心配です。(小学校でみんな「さん」づけとか混合名簿、非常に心配、先生たちもどうかしている。) 特別な考え方を持った人達に振り回されないよう、よろしくお願いします。(45～49歳 男性)
- ・ 男女共同参画が男女の差なくすべて同じにするのではなく、男・女それぞれの持ち味を生かしつつ協力し合えるものであってほしいと思います。(45～49歳 女性)
- ・ 女性を支援し過ぎると離婚を平気で決断してしまう女性が増えたりしないのでしょうか？経済的な支援は女性が独立できる環境を作り、結果として離別となると私は思います。男女が平等になるのは、まだまだたくさんの課題が残されていると思います。(45～49歳 男性)
- ・ 最近は女性の主張が強く、仕事も家事、育児も男性に頼りすぎだと思います。自己主張ばかりで仕事場でもあまり仕事をしない、そういう人が多いのも問題ではないのでしょうか。男女共同参画以前に、根本的などころではきちがえている若い女性が多い気がします。(45～49歳 女性)

- 1. 企業も積極的に重要な仕事を女性に与えるべきである。2. 男女とも同一職種は同一賃金を目指すべきである。(50～54歳 男性)
- 市長や市議会議員の女性が少なく、市をつくるうえで女性の意見が出ないし少ないと思うので、女性が半分くらいの議員の数になれば、市政も良くなり男女共同参画も多くの人が興味関心をもってくれるのではないか。(55～59歳 男性)
- 60代以上になると地域での活動が主になりがちで、特に団塊世代の私たちは小学生の頃より個性の尊重という教育のもと、今日の老人に至るわけです。就職時を除けば、不平等とはあまり感ずることはありません。特にこれからは女子も資格を持って社会に出るという気概があり、親しい友人もほぼ何らかの資格(保母、栄養士、検査技師、保健師、教師、薬剤師etc)を取って社会の第一歩を踏み出したものです。(65～69歳 女性)
- 男女平等・女性の社会進出と言うが、組織の中で無理に女性を登用することは、いかがなものか? 女性自身が自主的に実力を発揮出来る環境を整えることが大切である。その上で実力のある女性が管理職等へ登ることが望ましいと考える。女性の社会進出を早めようとして無理に女性を登用することは、その女性を苦しめる事もある。あくまでも組織の中では、男女ともその人の力に見合ったポジションにすべきである。(65～69歳 男性)
- 男女の性差は、どのようにしても平等にはならない。男女平等より、人間としての教育が重要。親や周りの人への思いやりや、親切の教育に重点を。思いやりのできる社会をとことん追究する独自性のある自治体をめざして欲しい。(70歳以上 男性)
- 1. 男女共同参画社会を実現するための県及び市町村の具体的な施策についての情報は、非常に少なく知ることができない。また、「女性センター」の活動内容については、他の市町村と横並びの活動ではなく、独自の活動を公表すべきであろう。2. 自営業や家族従事者、専業主婦などの他、夫が転勤族で常に一緒に転居せざるを得ない主婦もいる。このように男女共同参画社会から離れたところで、選挙権の行使のみが態度表明の女性もいるので、アンケートでは就労している人だけでなく、これらの観点から職業形態や年齢層ごとに意見を聴取することが望ましい。3. 現在、子どもの「子育て」・「しつけ」は親が行うのか、学校が行うのか、地域社会が行うのか、全くわからない。不登校、いじめも発生しているが、「子育て」・「しつけ」は親の責任と考える。一見、男女共同参画社会の取り組みとは離れた問題であるように見えるが、関連する問題であると考え。折角の男女共同参画社会の取り組みを積極的に活用し、他の子どもに関連する部門と連携して、将来の日本を背負う子どもの「子育て」・「しつけ」ができるようなシステムの構築が望まれる。(一部集約 70歳以上 男性)

【家庭生活について】

- 40代後半を迎え、両親も年を取り、子供は大学生と中学生。経済的にも肉体的にもさまざまな重圧がのしかかってきます。これから親の介護等が始まれば、間違いなく今以上の厳しい日々が訪れるはず。仕事を続けながらも介護や見守りができるよう、医療費や施設入居費など、もう少し見直して頂けたらありがたいと思います。やはり現実には結婚していれば妻が家庭の中の大半はこなしていかなければなりませんから。(45～49歳 性別不明)
- 逆に子育てについては男性が参加しにくい環境があると思います。働きながら子育てができるように、施設の拡充、社会制度(子供の医療補助)等していく必要があると思います。(45～49歳 男)

性)

- ・ 少子化と言われる今、子どものいない女性はそれだけで肩身がせまい。日立に限らず、茨城県はまだまだ保守的で、女性が介護など何もかもやってあたりまえという風土が根強いと思う。女性が生涯ひとりでも安心して老いて暮らしていける世の中になるとよいと思う。(50～54歳 女性)
- ・ 男女共同参画社会作りを実現するために子供、老人を預けるのに、保育士、介護士の給料の低さ、誰もが大変で預けるのにあまり重視されていない。預ける人、預かる人、これも平等であってほしいと思います。命を預かる大変な仕事だと思います。(55～59歳 女性)
- ・ 今の若い方たちは、私たちのころと比べると、ずいぶん家事・育児を分担してけなげに頑張ってるなと思います。応援したくなります。そんな若い人たちに様々な情報の提供や、気軽、気楽なコミュニティの場の案内を市政もよろしくお願いします。(55～59歳 男性)
- ・ 私は昔風な考えを持っています。子供を大切に育てるのは、母親の大事な課題だと思っています。礼儀作法が乱れている現在、日本の前途が不安になります。女性が家を守り、子供の躰（今の母親自体が無作法なものには驚きます）、愛ある家庭を夫と共に育てることが大切ではと思います。男性を馬鹿にする風潮（テレビコマーシャル等）もっての外で、お互いに認め合う家庭が子供にも良いお手本になると思います。昔の男性から比すれば、現代の男性は毛爪を抜かれた情けない姿に見えます。笑顔が第一、互いにほめあい明るい家庭。女性は子育てをしっかりとすれば将来に光明が見えます。良い家庭＝繁栄する国家？仕事があり安心して生活できる政治・支援される他力本願でなく自力本願でゆきたい。(70歳以上 性別不明)

【仕事と生活について】

- ・ 私は工場で働いているので、女性より男性が多いが、仕事の内容を考慮すると、わざわざ積極的に採用しようという動きはしない方がよいと思う。男女、互いに別の得意分野や適性があると思うので、まずそれを認識させるべき。その上で各個人に合った仕事を市が紹介できるようになればいいなと思う。政策決定に女性の意見や視点を生かすという考えは、女性だから男性だから、とかではなく単純に良い意見だからそれを生かすという考え方に改めなければ真の平等にはならないはず。単に女性を重要ポストに入れるように働きかけるのではなく、なぜ有能な女性が重要ポストに入れられないかアプローチするべきだと思う。(20～24歳 男性)
- ・ 我が家は夫婦共働きで今はまだ子供はいませんが、今後子どもをもつことを考えると保育施設が充実していることを望みます。女性が働きやすい環境、社会進出しやすい環境を整えてほしいと思います。(25～29歳 女性)
- ・ 小学校に入学する子どもを学童という形で見ていただくことはありがたいのですが、6時まででは、早すぎて迎えに行けません。そのため、妻が仕事を続けるか、悩んでおります。どうか、各学校で実施されている学童の時間を夕方6時までではなく7時までにして下さい。他県や他市では7時まで見てくれる所も沢山あります。どうかどうか宜しくお願い致します。(30～34歳 男性)
- ・ もっと主婦が働きやすい環境を作って欲しい。主婦が正社員で働きたくても時間の拘束が長すぎるので難しい。パートだと（扶養だと…）もらえる給料のしぼりがあるって働けない。主婦が自立して働くにはかなり勇気がいる。扶養の金額の縛りをつけるのはやめて欲しい。(35～39歳 女性)
- ・ 日立市は近隣の市町村に比べ、共働き世帯に対する支援が不足していると感じています。各学校で

開設している児童クラブは、開設時間が保育園に比べ短く、フルタイムでは送迎時間に間に合いません。このような時間であれば住居をどこに構えるか、職場がどこかをかなり前から知らないと破綻します。また地域の支援が前提で、父母どちらかの両親が近くにおいて支援してもらわないと仕事を続けていくことは困難です。児童クラブが 18 時以前に迎えが必須というのは 20 分圏内の職場でない場合、フルで働くことは無理です。情報、相談、啓蒙だけでなく具体的な支援サービスの充実、早期実現を期待します。(35～39 歳 女性)

- ・ 保育所に子どもを預けていて仕事をしている人は、子どもが体調不良の際に保育所に預けられず仕事を休む必要がある。そのため仕事につけない人もいる。体調不良でも子どもを預けられる施設があれば良いと思う。(40～44 歳 男性)
- ・ 女性の再就職はとてもむずかしい。子育てをもっと地域でお願いしやすい環境がない。近所もよくわからない。〇〇さんのおばちゃんという存在が昔はあり、子供だけで遊びにいった。今はむずかしいのか…。ちょっと子供をみていてくれる、そんな所。お母さんのスキルを上げるような生活のヒントをもらえる、おばあさん世代の活躍があってもいいのでは…。(40～44 歳 女性)
- ・ 仕事に戻りたいが、実家もなく子供が病気になった時の事を考えると働けない。本当の女性センターの役割は、お気楽な主婦を対象とした各種の講座ではなく、日立市全体で女性に対する働きやすくする環境を整える事だと思います。(45～49 歳 女性)
- ・ 育児と介護の為に休暇を気兼ねなく取れるように（男女とも）条例を作ってほしい。特に小さな会社だと女性が育休から戻った時に役職が無くなっているのが当たり前だったり、男性が子供を理由に急な早退や休むことへの理解がとても乏しい実情があります。(45～49 歳 女性)
- ・ 1 人親で子供も成人しましたが、時々思い出すのは、仕事を持って必死に働いている片親には、やさしくない”日立市”だなど。なかなか保育園には入れず。どうにか母に頼んでクリアしましたが。その後、その母が認知症で仕事を辞めざるをえませんでした。母の死後、息子が統合失調症になり、本当に福祉に関しても力を入れて戴きたいと願います。働きたくても、いろんな事情があると思います。だからこそ少しでも救いの手があれば!と願いますので、よろしく願い致します。(50～54 歳 女性)
- ・ 育児・介護で退職した後にも、再度就職できる制度、環境が充実していれば安心して一時職を離れ、満足のいく育児、介護ができると思う。今までに培ったキャリアを生かしたり、資格を身につけたりして再度社会に出ることはとても難しいかもしれないが、それが出来るなら非常にありがたいと思う。私自身子育てのため、退職している間にワープロやパソコンの資格を取得し、40 歳で再就職し今に至っています。この間、子育てに集中できたことに感謝している。(55～59 歳 女性)
- ・ 社会に活力が生まれるために、女性の活用は必要。日立もそうだが、茨城は男尊女卑の古い考え方が強い。まずは文化を少しずつでも変えていく努力が必要。現代（21 世紀）は IT の時代であり、力や異なる知識より右脳の感性が必要。女性はそれに優れる。もっと職場や交通機関で女性が活躍できるようあらゆる努力をしてほしい。彼女らの能力はまだ 10%も使われていない。一方で、彼女たちが安心して子育てできる環境の充実を平行して行わないと進まない。(55～59 歳 男性)
- ・ 雇用者の方々の考え方が変わることを願うのみ。働きたい！働かなければ！だが、時間が許されない！短時間でも社会と交わりたい。家庭から離れたたい。こんな思いをもっと理解する雇用者が多く

なれば良いと思う。大先輩の方々も若い方々の考えを理解する努力をしてもらいたい。昔は皆、新米ママだったから。(60～64歳 女性)

- ・ シングルマザーが働きやすい環境を作ることが肝要と考える。シングルマザーになるのはそれなりにマザー自身の問題も多いと考えるが、子どもに罪はない。その罪のない子どもを養育・教育し、成人させることが将来的には国力（日立市の市力）につながることを考える必要があると思う。子どもを健康に育てる環境、国及び市の将来にとっては大事。(一部集約 60～64歳 男性)

【地域活動について】

- ・ まだまだ地域コミュニティ内では男尊女卑に近い状況の所も多い。コミュニティ内まで市が介入することは難しいが、地域社会全体で男女共同参画関連の話題を増やしながら自分達のような若い世代から変えていくべきだと感じる。(20～24歳 女性)
- ・ 女性の自由な発言 これが必要。昔は井戸端会議と言う情報伝達の仕組みがあって、若い女性は老人達の話聞いて生活一般から宗教の事等地域の教育の場といってもよかった。しかし、今はない。(70歳以上 男性)
- ・ 男女共同参画社会の施策についてまとまった情報がない(関心が薄いためか目に触れる情報が少ない為か)。地域活動についてほとんど関わっていない。地域活動の組織の人々が特定の人で固定しているので携わるきっかけがない。町内会の加入率を上げて、この組織を有効に活用する方法を考えること。これは男女共同だけでなく、地域の危機対応、助け合い、交流など多目的に有効。(70歳以上 男性)

【配偶者、恋人などからの暴力について】

- ・ DVによる精神的苦痛で子供を連れてかけ込み寺のような場所があれば、多くの女性にとって助けになると思います。単に逃げるだけでなく、そこで働きながら安心して子供の面倒を見ることもできれば幸いではないかと思えます。(40～44歳 女性)

【日立市について】

- ・ 保育料が高すぎ 日立市はどうしてこんなに高いんですか 保育料払うのに働いてるようなものです。どうかしてください。(30～34歳 女性)
- ・ 日立市は出産する場が少なすぎます。長女はひたちなかに住んでいるため、産む場所がたくさんありましたが、次女は日立に住んでいたため悩みました。(35～39歳 女性)
- ・ 情報も紙での方法はあまり効かないと思う。イベントを通して皆が集まる場所でのPRをした方が良い。もっと女性の生きる場所を作った方がいい。日立市は企業の街のイメージが強すぎて、企業が協力しないと市政がうまくいかないイメージがある。企業に協力してもらうのは基本ですが、市の特徴を出さないと住んでいても面白く無い。もっと特徴を出してほしい。(70歳以上 男性)

日立市に住む男女の生活と意識の調査

ご協力をお願い

日頃から、市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、日立市におきましては、平成24年に策定した「第2次ひたち男女共同参画計画」に基づき、男女が共にその個性と能力を発揮できるよう、様々な取組を進めています。この計画の期間が平成28年度で終了するため、次の新しい計画を策定するにあたり、市民の皆様にアンケートをお願いして、今後の男女共同参画施策に生かしていきたいと考えております。

今回ご協力をお願いしているのは、日立市にお住まいの20歳以上の方4,000人（男女各2,000人）で、無作為に抽出させていただいた方々です。ご回答については無記名で、統計的に処理しますので、回答者が特定されたり、他の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年8月

日立市長 小川 春樹

◆ご記入にあたってのお願い

- 1 アンケートには、あて名のご本人がお答えください。
- 2 項目ごとの説明にしたがって、あてはまる項目の番号・点数等に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合は、具体的な内容を（ ）の中に記入してください。
- 3 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、**9月15日（火）まで**にお近くのポストに投函してください。（切手は不要です。）



日立市男女共同参画社会
シンボルマーク

【お問い合わせ先】

日立市 生活環境部 女性青少年課

〒317-0073 日立市幸町1-21-1

電話 0294-26-0315 IP電話 050-5528-4939

FAX 0294-26-0317

Eメール: josei@city.hitachi.lg.jp

日立市に住む男女の生活と意識の調査

あなたご自身についてうかがいます。

F1 あなたの性別はどちらですか。 いずれかに○をつけてください。

- | | |
|---|----|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |

F2 あなたの満年齢はおいくつですか。 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 20～24 | 歳 |
| 2 | 25～29 | 歳 |
| 3 | 30～34 | 歳 |
| 4 | 35～39 | 歳 |
| 5 | 40～44 | 歳 |
| 6 | 45～49 | 歳 |
| 7 | 50～54 | 歳 |
| 8 | 55～59 | 歳 |
| 9 | 60～64 | 歳 |
| 10 | 65～69 | 歳 |
| 11 | 70歳以上 | |

F3 あなたは結婚されていますか。 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 未婚 |
| 2 | 結婚していないがパートナーと暮らしている（事実婚） |
| 3 | 結婚している |
| 4 | 結婚しているが別居している |
| 5 | 離別 |
| 6 | 死別 |

F4 あなたが現在同居しているご家族の構成は、次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | ひとり暮らし |
| 2 | 夫婦のみ（事実婚も夫婦とみなします。） |
| 3 | 親と子（二世帯） |
| 4 | 親と子と孫など（三世帯以上） |
| 5 | その他 |

F5 あなたには、育児などの必要な子どもや介護の必要な方（同居以外の親等も含む）がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 就学前の子どもがいる |
| 2 | 小学生の子どもがいる |
| 3 | 中学生の子どもがいる |
| 4 | 介護が必要な家族がいる |
| 5 | 育児や介護が必要な家族はいない |

F6 あなたが最後に卒業した学校、又は現在 在学中の学校はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 中学校・高等学校 |
| 2 | 専門学校、短大、専修学校 |
| 3 | 大学・大学院 |
| 4 | その他 |

F7 あなたがお住まいの小学校学区に○をつけてください。

1 助川	2 会瀬	3 宮田	4 滑川	5 仲町
6 中小路	7 大久保	8 河原子	9 成沢	10 諏訪
11 水木	12 大みか	13 大沼	14 金沢	15 塙山
16 油繩子	17 田尻	18 日高	19 豊浦	20 久慈
21 坂本	22 東小沢	23 中里	24 櫛形	25 山部

男女の地位や役割についてうかがいます。

問 1 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらかといえば反対
- 4 反対
- 5 わからない

問 2 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 2 結婚して子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 3 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- 4 子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい
- 5 女性は職業を持たない方がよい
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問 3 次の言葉の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 男女共同参画社会
- 2 ジェンダー (社会的・文化的に形成された性別)
- 3 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の両立)
- 4 男女雇用機会均等法
- 5 育児・介護休業法
- 6 DV (ドメスティック・バイオレンス)
- 7 女子差別撤廃条約

問4 あなたは、次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。
 下の(1)～(8)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(1)家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2)職場	1	2	3	4	5	6
(3)学校教育	1	2	3	4	5	6
(4)社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(5)政治の場	1	2	3	4	5	6
(6)町内会・自治会等の自治組織	1	2	3	4	5	6
(7)コミュニティ	1	2	3	4	5	6
(8)社会全体	1	2	3	4	5	6

問5 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために不足している、不十分だと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 法律や制度の上で女性差別につながるものを改めること 2 女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること 4 女性の再就職や社会参加を支援する施設やサービス（保育や介護等）の充実を図ること 5 国や地方公共団体において、重要な役職に積極的に女性を登用すること 6 民間企業や団体などの重要な役職に女性の登用が進むよう支援を行うこと 7 女性が少ない分野（研究者等）への女性の進出を支援すること 8 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、男女の働き方の見直しを行うこと 9 その他（ ） |
|---|

家庭生活についてうかがいます。

問6 あなたは、「結婚」についてどのようなイメージをお持ちですか。下の(1)～(5)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない	わからない
(1) 家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる	1	2	3	4	5
(2) 結婚により社会的評価が安定する	1	2	3	4	5
(3) 経済的にゆとりのある生活を送ることができる	1	2	3	4	5
(4) 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる	1	2	3	4	5
(5) 結婚すると自由がなくなる	1	2	3	4	5

問7 あなたのご家庭では、家事や育児をどのように行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(ひとり暮らしの方は回答不要)

1	すべて妻（又は母、子の妻など女性）が行っている
2	ほとんど妻（又は母、子の妻など女性）が行っているが、時々家族が手伝う
3	ほとんど妻（又は母、子の妻など女性）が行っているが、家族の分担がある
4	内容や曜日等によって、家族が分担して行っている
5	家族のうち、できる時にできる人が行っている
6	すべて夫（又は父、子の夫など男性）が行っている
7	ほとんど夫（又は父、子の夫など男性）が行っているが、時々家族が手伝う
8	ほとんど夫（又は父、子の夫など男性）が行っているが、家族の分担がある
9	その他（ ）

問 8 あなたは、家庭生活や地域生活について悩みや不安を感じていますか。下の（１）～（６）について、あてはまる数字 1 つに○をつけてください。

	とても不安を感じる	不安を感じる	不安は感じない	該当しない
(1) 夫婦や家族の関係	1	2	3	4
(2) 心身の健康	1	2	3	
(3) 自分自身や家族の介護	1	2	3	
(4) 経済的な問題	1	2	3	
(5) ご近所や地域との付き合い	1	2	3	
(6) 仕事と生活(家庭生活や地域活動・個人の生活)の両立	1	2	3	4

問 9 あなたは全体的に見て、家庭生活に満足していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1	満足
2	どちらかといえば満足
3	どちらかといえば不満
4	不満

仕事と生活（家庭生活や地域活動、個人の生活）の両立についてうかがいます。

問 10 あなたのお仕事についてお伺いします。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1	雇用されている（フルタイム）	→ 問 11 へお進みください
2	雇用されている（パート・アルバイト・嘱託）	
3	自営業主・家族従事者・在宅ワーク	
4	専業主婦・主夫	→ 問 17 へお進みください
5	学生	
6	無職	

※ 問 10 で「1 雇用されている(フルタイム)」、「2 雇用されている(パート・アルバイト・嘱託)」
または「3 自営業主・家族従事者・在宅ワーク」とお答えの方にかがいます。

問 11 あなたのお仕事の内容は何ですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--|
| 1 管理職 | |
| 2 専門・技術職 | |
| 3 事務職 | |
| 4 販売・サービス・保安職 | |
| 5 農林漁業職 | |
| 6 生産・輸送・建設・労務職 | |
| 7 その他 () | |

問 12 あなたの日常的な勤務日数と勤務時間(残業時間も含む)を教えてください。
(就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンをお答えください。産
休・育児休業・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。)

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1 週当たり () 日 | ※頻繁に休日出勤がある場合は
日数に含めてください。 |
| 1 日当たり () 時間 | ※30 分以上は 1 時間に切り上げ |

問 13 あなたが仕事をしている主な理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて
ください。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 生活のため | |
| 2 家計の補助とするため | |
| 3 経済的に自立するため | |
| 4 働くことはあたりまえだから | |
| 5 自分の能力や資格、技能などを生かすため | |
| 6 社会とのつながりを持つため | |
| 7 その他 () | |

問 16 あなたは、仕事と家庭の両立において、日頃から「不安」に感じていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもの具合が悪くなったときに休みが取れない（取りにくい）
- 2 学校や保育園が休みの時に子どもを見てくれる人がいない
- 3 親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはなくなる可能性がある
- 4 育児や介護で休みをとると昇進や昇給に影響が出る不安
- 5 育児や介護で休みがちで仕事を辞めさせられる不安
- 6 仕事が忙しすぎて家にいる時間がなく、家庭や親子関係が不安
- 7 ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

※ 問 10 で「4 専業主婦・主夫」「5 学生」「6 無職」とお答えの方にはうかがいます。それ以外の方は問 18 へお進みください。

問 17 あなたは、今後、収入を伴う仕事をしたいですか。いずれかに○をつけてください。

- 1 はい ——→ 問 17-1 へお進みください
- 2 いいえ ——→ 問 18 へお進みください

問 17-1 現在は、どのような理由から仕事をしていないのですか。主な理由 1 つに○をつけてください。

- 1 仕事と家庭の両立が難しい
- 2 夫（妻）が仕事をするのを望まない
- 3 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 4 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- 5 しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 6 就学中または資格取得など準備中
- 7 健康上の理由
- 8 その他（ ）

問 17-2 仕事につくときは、どんな働き方をしたいですか。主なもの1つに○をつけてください。

- 1 フルタイムで働きたい
- 2 パートやアルバイトなどとして働きたい
- 3 起業したい
- 4 その他 ()

※ すべての方にうかがいます。

問 18 あなたが仕事を選ぶとき、重視することは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 専門知識が活かせる
- 2 性格・能力が適している
- 3 仕事にやりがいがある
- 4 能力・実績に応じて評価される
- 5 給料の条件が良い
- 6 勤務時間・勤務場所の条件が良い
- 7 職場の雰囲気が良い
- 8 育児や介護への理解や制度が整っている
- 9 その他 ()

問 19 あなたは、仕事と生活を両立するため、現在の企業や事業所にはどのような支援が不足していると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 妊娠中や育児期間中の勤務軽減
- 2 安心して子どもの看病のための休暇が取れる制度
- 3 育児休業制度などの普及促進等の環境づくり
- 4 男性も子育てに参加できる環境づくり
- 5 職場内の理解を深めていくこと
- 6 女性の就労継続に対する企業の理解や支援
- 7 勤務先に保育施設を設置する
- 8 在宅勤務など柔軟な働き方ができる制度の導入
- 9 その他 ()

地域活動についてうかがいます。

問 22 あなたは、この3年間の間に、次のような地域活動に参加したことがありますか。
 下の(1)～(6)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	頻繁に参加	ある程度参加	あまり参加しなかった	全く参加しなかった
(1)町内会・自治会の会合や行事	1	2	3	4
(2)コミュニティ活動	1	2	3	4
(3)子ども会やスポーツ少年団などの活動	1	2	3	4
(4)保育園や幼稚園、学校のPTA活動	1	2	3	4
(5)まちづくりなどに取組む活動	1	2	3	4
(6)ボランティア活動	1	2	3	4

※ 問 22 で全てに「あまり参加しなかった」または「全く参加しなかった」とお答えの方にはうかがいます。

問 22-1 参加しないのはどのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事が忙しく時間がない
- 2 育児や介護のため時間がない
- 3 経済的な負担がかかる
- 4 健康に自信がない
- 5 対人関係に自信がない
- 6 情報がなくわからない
- 7 役員などにされると困る
- 8 きっかけがない
- 9 関心がない
- 10 その他 ()

配偶者、恋人などからの暴力についてうかがいます。

問 23 あなたは配偶者や恋人などからの暴力について相談できる窓口を知っていますか。
いずれかに○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問 24 あなたは配偶者や恋人などのパートナーから次のようなことをされたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	まったく ない	1、 2 度 あ っ た	何 度 も あ っ た
(1) 身体的暴力	1	2	3
(2) 心理的暴力(暴言、長期無視、過干渉、脅迫など)	1	2	3
(3) 経済的圧迫(生活費をくれないなど)	1	2	3
(4) 性的強要	1	2	3

※ 問 24 で「1、2 度あった」「何度もあった」が1つでもあった方にうかがいます。

問 24-1 どこかに相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 警察に通報、相談した
 - 2 警察以外の公的機関に相談した
 - 3 民間の機関に相談した
 - 4 医療機関に相談した
 - 5 家族や親類に相談した
 - 6 友人・知人に相談した
 - 7 その他 ()
 - 8 どこにも相談しなかった
- 問 25 へお進みください
- 問 24-2 へお進みください

※ 問 24-1 で「8 どこにも相談しなかった」とお答えの方にはうかがいます。

問 24-2 相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 どこに相談してよいかわからなかったから
- 2 相談しても無駄だと思ったから
- 3 相談したことがわかると仕返しされと思ったから
- 4 自分さえ我慢すればよいと思ったから
- 5 自分にも悪いところがあると思ったから
- 6 相談するほどのことでもないと思ったから
- 7 恥ずかしくてだれにも言えなかった
- 8 その他 ()

※ 問 24 で「1、2 度あった」「何度もあった」が1つでもあった方にうかがいます。

問 25 あなたは配偶者や恋人などのパートナーからそのような行為を受けたとき、どうしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 相手と別れた
- 2 別れたいと思ったが、別れなかった
- 3 別れようとは思わなかった

日立市についてうかがいます。

問 26 日立市（鮎川町）には男女共同参画を推進するための拠点として、「女性センター（らぽーるひたち）」があります。あなたは、この施設を利用したことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 よく利用する
- 2 1、2 度利用したことがある
- 3 利用していないが、知っている
- 4 知らない

問 27 あなたは、この「女性センター（らぼーるひたち）」にどのような役割を期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|---|
| 1 | 男女共同参画に関する情報、資料等の提供 |
| 2 | 講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催 |
| 3 | 女性相談の窓口 |
| 4 | 男性相談の窓口開設 |
| 5 | 女性向け講座の開催 |
| 6 | 男性向け講座の開催 |
| 7 | 講座・講習会の開催（男女区分なし） |
| 8 | 就職支援講座や起業講座等による女性の就業支援 |
| 9 | 自主的な趣味や学習活動・ボランティア活動の支援 |
| 10 | 同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援 |
| 11 | いつでもだれでも立ち寄れる交流の場 |
| 12 | その他（ ） |
| 13 | 特になし |

問 28 あなたは、男女共同参画社会を実現するために市が行っている現在の取組について、どのように評価しますか。次の（１）～（５）についてもっともあてはまる点数に○をつけてください。

	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
(1) 男女共同参画に関する情報提供や啓発を行っている	5点	4点	3点	2点	1点
(2) 政策決定に女性の意見や視点を生かしている	5点	4点	3点	2点	1点
(3) 保育や介護の施設やサービスが充実している	5点	4点	3点	2点	1点
(4) 男女の平等や相互の理解・協力について、学校教育や社会教育が充実している	5点	4点	3点	2点	1点
(5) 男女の生き方に関する相談や交流の場を提供している	5点	4点	3点	2点	1点

問 29 あなたは、男女共同参画社会を実現するための今後の市の政策として、次の（１）～（５）の取組はどのくらい重要だと思いますか。もっともあてはまる点数に○をつけてください。

	とても重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
(1) 男女共同参画に関する情報提供や啓発を行う	5点	4点	3点	2点	1点
(2) 政策決定に女性の意見や視点を生かす	5点	4点	3点	2点	1点
(3) 保育や介護の施設やサービスを充実する	5点	4点	3点	2点	1点
(4) 男女の平等や相互の理解・協力について、学校教育や社会教育を充実する	5点	4点	3点	2点	1点
(5) 男女の生き方に関する相談や交流の場を提供する	5点	4点	3点	2点	1点

問 30 アンケートの内容や男女共同参画について、ご意見やご感想があれば、ご自由にお書きください。

調査へのご協力ありがとうございました。
 お手数ですが、調査票は、同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。
 （切手を貼る必要はありません。）

日立市に住む男女の生活と意識の調査 2015

平成 28 年 3 月
日立市

日立市生活環境部女性青少年課
〒317-0073 茨城県日立市幸町 1-21-1
電話 0294-26-0315
E-mail : josei@city.hitachi.lg.jp
日立市ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/>

